

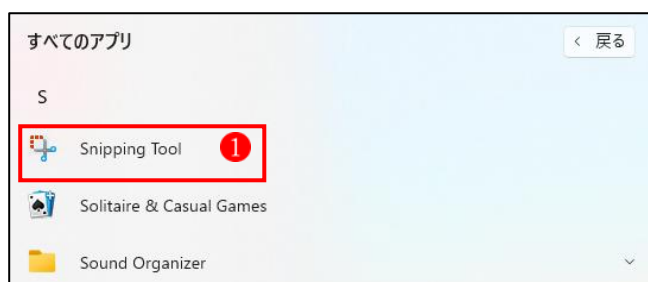
Snipping Tool の使い方（新）

Windows11 にインストールされている「Snipping Tool」を使うと、簡単に画面をキャプチャーすることができます。「Snipping Tool」は Windows Update で新しい機能が追加されています。

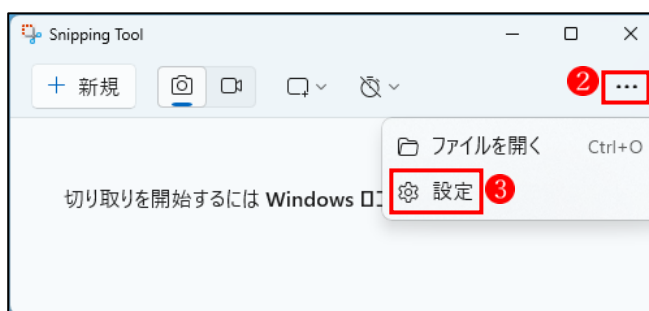
1 「Snipping Tool」の設定

「Snipping Tool」を使いやすくするために、あらかじめ初期設定をしておきましょう。

- ① 「すべてのアプリ」から「Snipping Tool」アプリ①を起動します。



- ② 「もっと見る」②をクリックし、メニューから「設定」③をクリックします。



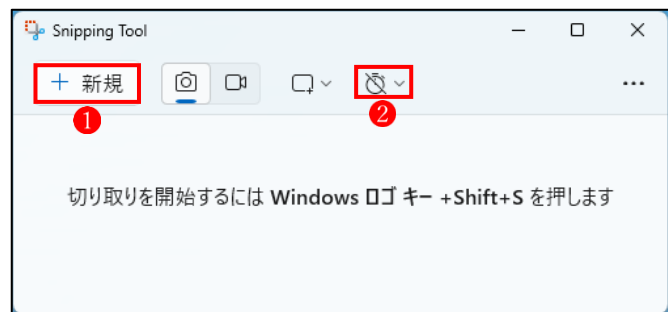
- ③ 表示された画面で、「領域の切り取り」に関する設定を行います。
「自動的に変更にコピー」④をオンにします。
なお、切り取った画像を常に保存しておきたい場合は「スクリーンショットを自動的に保存」⑤をオンにします。（※切り取った画像は、ピクチャフォルダーの中の「スクリーンショット」フォルダーに自動的に保存されます。）
→「戻る」ボタン⑥をクリックします。これで、「領域の切り取り」に関する設定内容が適用されます。



2 画面をキャプチャーする（切り取る）方法

- (1) まず「Snipping Tool」を起動します。
を起動する方法は3通りあります。

- ① 「全てのアプリ」から「Snipping Tool」を選択する方法。
→右図のウィンドウ が開きます。



- ② 「Windows キー」と「 Shift キー」と「 S キー」を同時に押す方法。→右図のウィンドウが開きます。



- ③ 「Print Screen キー」を押す方法。→同上

※②と③のショートカットキーによる起動の場合は、「新規」①と「遅延切り取り」②のボタンがありません。

(2) 切り取りモードの種類

画像をキャプチャー方法として、4つの<切り取りモード>があります。

- ① 四角形モード

デフォルトで選択されている切り取りモードで、長方形の形でキャプチャーする領域を定義できます。四角形モードを選択した後に「+新規」をクリックし、一瞬画面が暗くなります。その状態でマウスで画面の中のキャプチャーしたい部分を囲むようにドラッグすると、その領域がキャプチャーされます。

- ② ウィンドウモード

このモードでは、画面上の任意のウィンドウのスクリーンショットを撮ることができます。ウィンドウモードを選択した後に「+新規」をクリックし、続いてキャプチャーしたいウィンドウ内をクリックすると、そのウィンドウの領域だけのスクリーンショットが撮れます。

- ③ 全画面モード

このモードでは、デスクトップのフルスクリーンショットをキャプチャーします。全画面モードを選択した後に「+新規」をクリックするとフルスクリーンショットが撮れます。

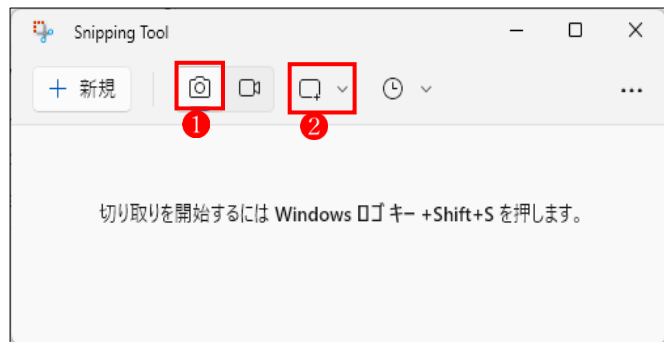
- ④ 自由領域モード

このモードでは、自由形式の方法でキャプチャーする領域を指定できます。自由領域モードを選択した後に「+新規」をクリックし、画面上の切り取りたい領域をマウスで自由にドラッグするとその領域がキャプチャーされます。

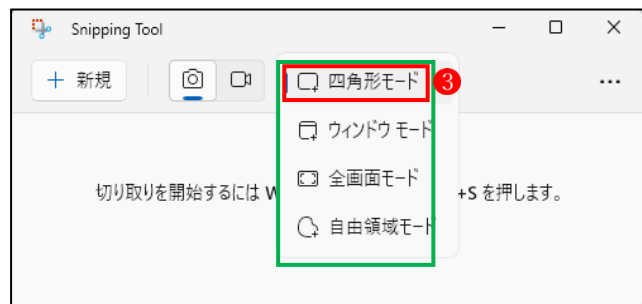
(3) 画面キャプチャーの操作方法

ここでは、すべての機能が表示されているウィンドウでの操作方法を説明します。

- ① カメラのアイコン①をクリックします。
- ② 「切り取りモード」②をクリックします。

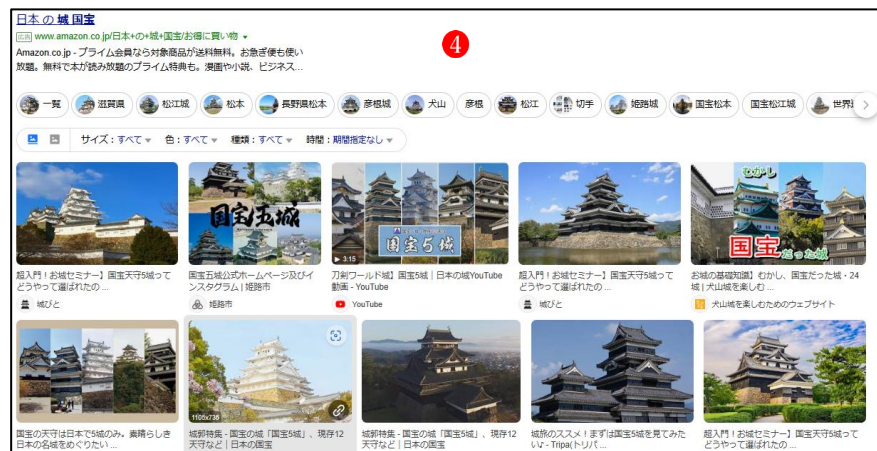


- ③ 「切り取りモード」の種類を選択します。
ここでは、「四角形モード」③を選択します。



- ④ キャプチャーしたい対象をあらかじめ画面に開いておきます。

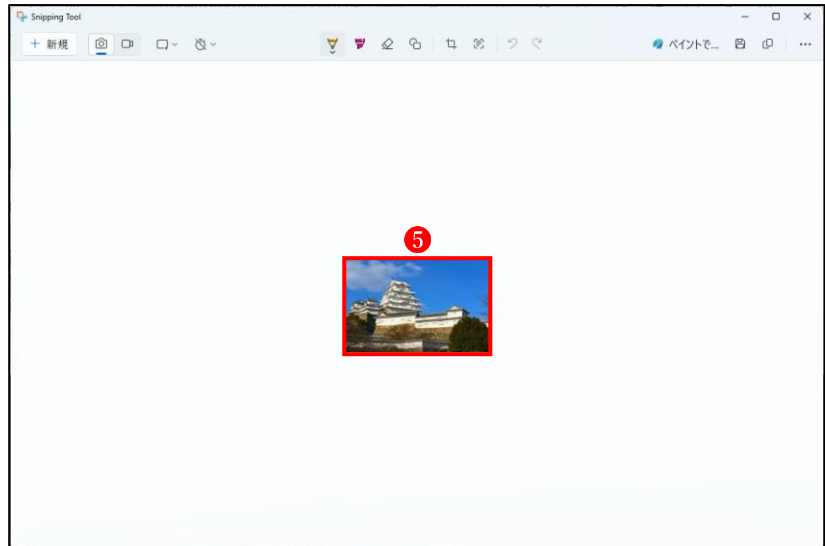
※ここでは、画像キャプチャーのサンプルとして、画像の含まれている Web ページ④を開いておきます。



- ⑤ 切り取りモードは四角形モードになっているので、マウスで切り取りたい部分⑤を囲んで選択します。



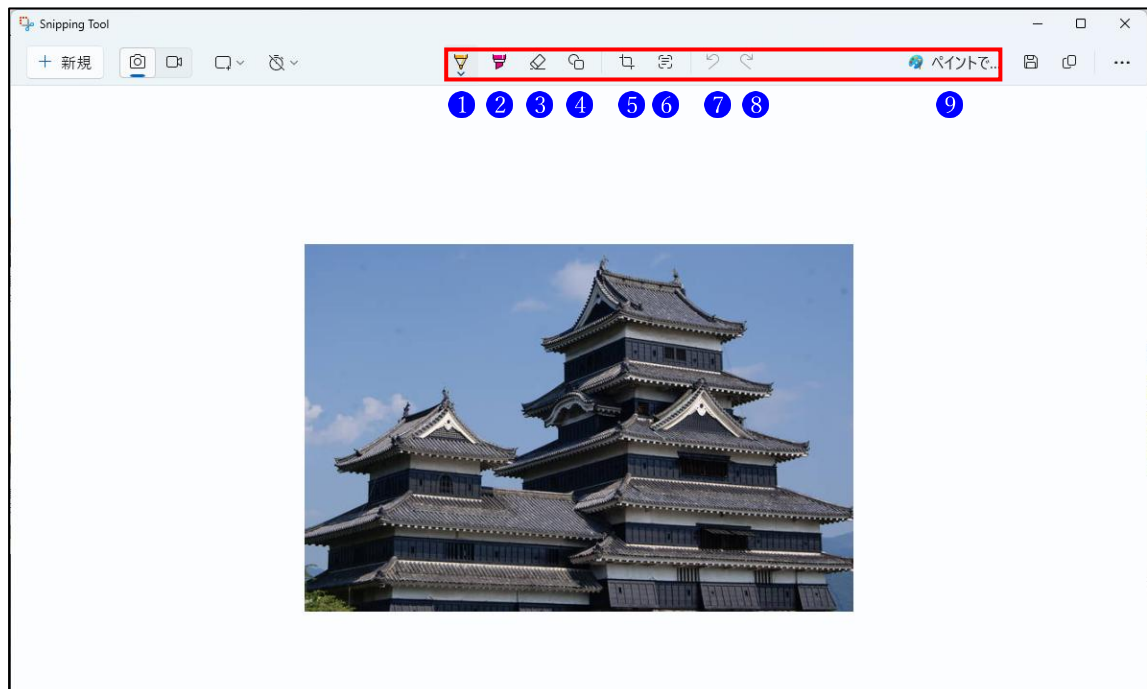
- ⑥ 切り取った画像⑤が「Snipping Tool」に表示されます。



- ⑦ この画像は既にクリップボードにもコピーされていますので、特段の操作をすることなく他のアプリ（例えば Word）を立ち上げて貼り付けることができます。また、最初の設定の場面で「スクリーンショットを自動的に保存」をオンにしている場合は、同時に「ピクチャ」フォルダの「スクリーンショット」フォルダー内に画像が保存されているので、後で使うことができます。

3 切り取った画像の編集

「Snipping Tool」には画像の編集機能も付いていますので、ここで簡単な編集ができます。

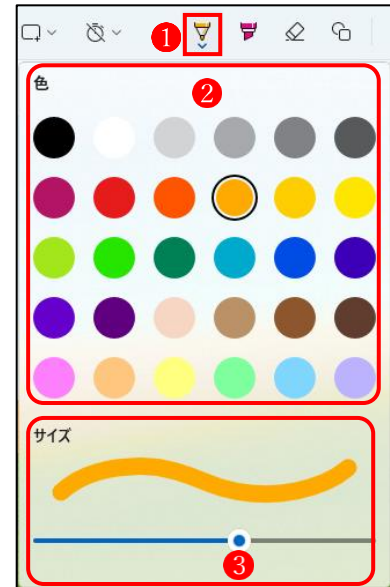


<各ボタンの機能>

- ①ボールペン ②蛍光ペン ③消しゴム ④図形 ⑤画像のトリミング
⑥テキスト アクション ⑦元に戻す ⑧やり直し ⑨ペイントで編集します

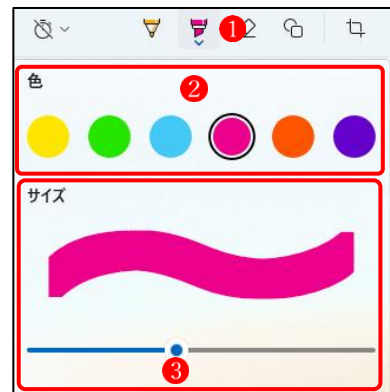
(1) 「ボールペン」①の使い方

- ① ボールペンのボタン①をクリックすると、「色」とサイズ（太さ）を設定できます。
- ② ボールペンの色は、表示されている色②の種類から選択します。
- ③ ボールペンのサイズは、スライダー③を動かして太さを決めます。



(2) 「蛍光ペン」②の使い方

- ① 蛍光ペンのボタン①をクリックすると、「色」とサイズ（太さ）を設定できます。
- ② 蛍光ペンの色は、表示されている色②の種類から選択します。
- ③ 蛍光ペンのサイズは、スライダー③を動かして太さを決めます。

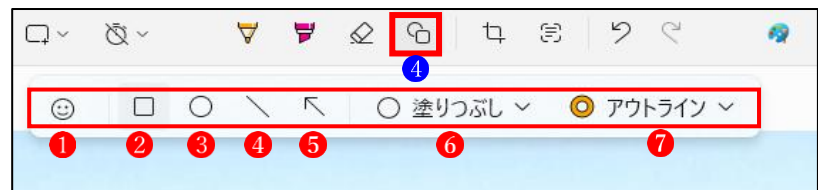


(3) 「消しゴム」③の使い方

消しゴムツールは、オブジェクト（ボールペンや蛍光ペンで描いた線、絵文字、図形など）を消したいときに、対象物をドラッグすると消すことができます。

(4) 「図形」④の使い方

図形ツールをクリックすると、ツールバーが表示されます。



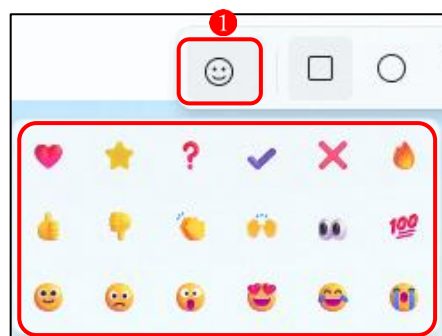
ツールバーには次のボタンが用意されています。

- ①絵文字 ②正方形 ③楕円 ④直線 ⑤矢印 ⑥塗りつぶし ⑦アウトライン

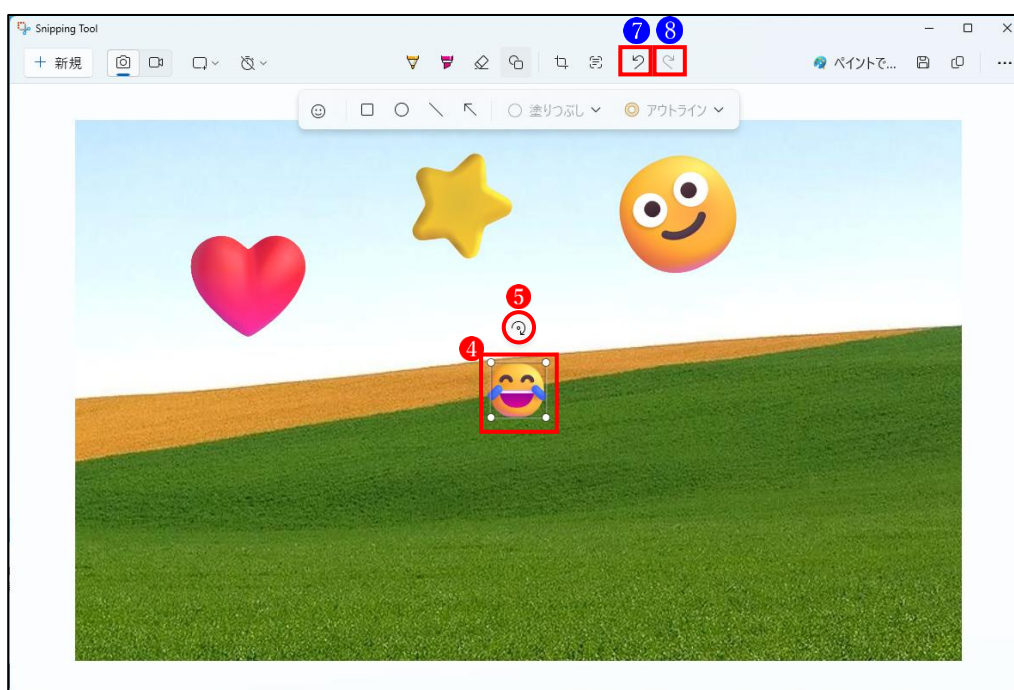
① 絵文字

絵文字ボタン①をクリックすると、絵文字の一覧②が表示されます。

- ・画像に挿入したい絵文字をクリックすると、絵文字が画面中央部に挿入されます③。
- ・挿入された絵文字は、ドラッグして好きな場所に移動できます。



- ・絵文字の四隅のハンドル④を使うと絵文字の拡大縮小ができます。また、絵文字の上部に表示される回転矢印⑤を使うと絵文字を回転させることもできます。
- ・一度絵文字以外の場所をクリックすると絵文字の状態が確定されます。この状態になると再度絵文字を選択することはできなくなるので、注意が必要です。
- ・元に戻ってやり直したい場合は、「元に戻す」ボタン⑦を使って、最初の絵文字の挿入からやり直します。戻しすぎた場合は、「やり直す」ボタン⑧で前に進めます。



② 正方形：正方形の図形を描きます。ただし、四角形の形は自由に変えられます。

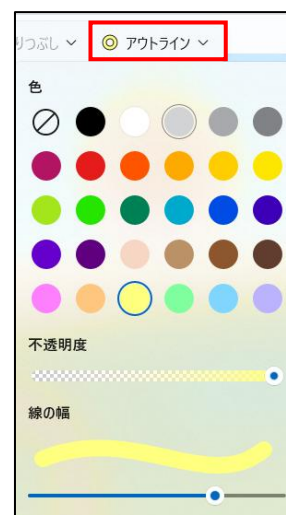
③ 楕円：楕円を描きます。楕円の形は自由に変えられます。

④ 直線：直線を描きます。

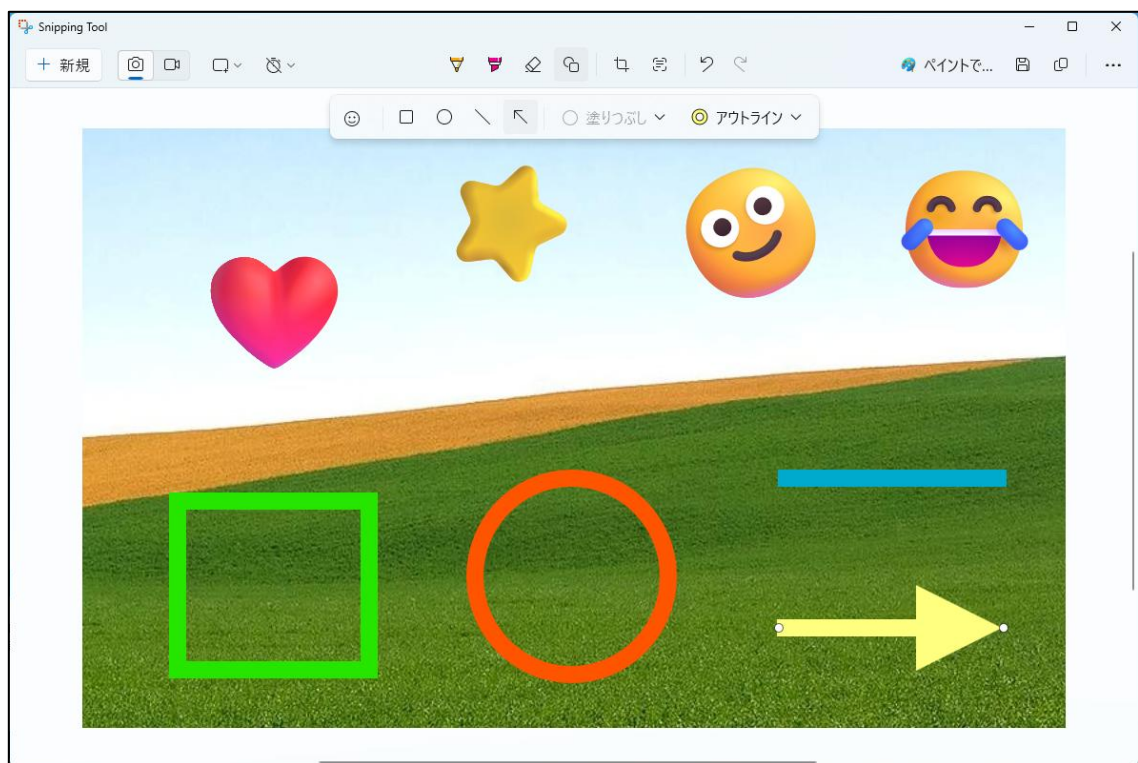
⑤ 矢印：矢印を描きます。

⑥ 塗りつぶし：図形を塗りつぶします。(※現時点(2024.09)では塗りつぶせません。)

⑦ アウトライン：正方形、楕円、直線、矢印の枠線の幅を変え、枠線に色を付けます。また、枠線の不透明度を変えることもできます。

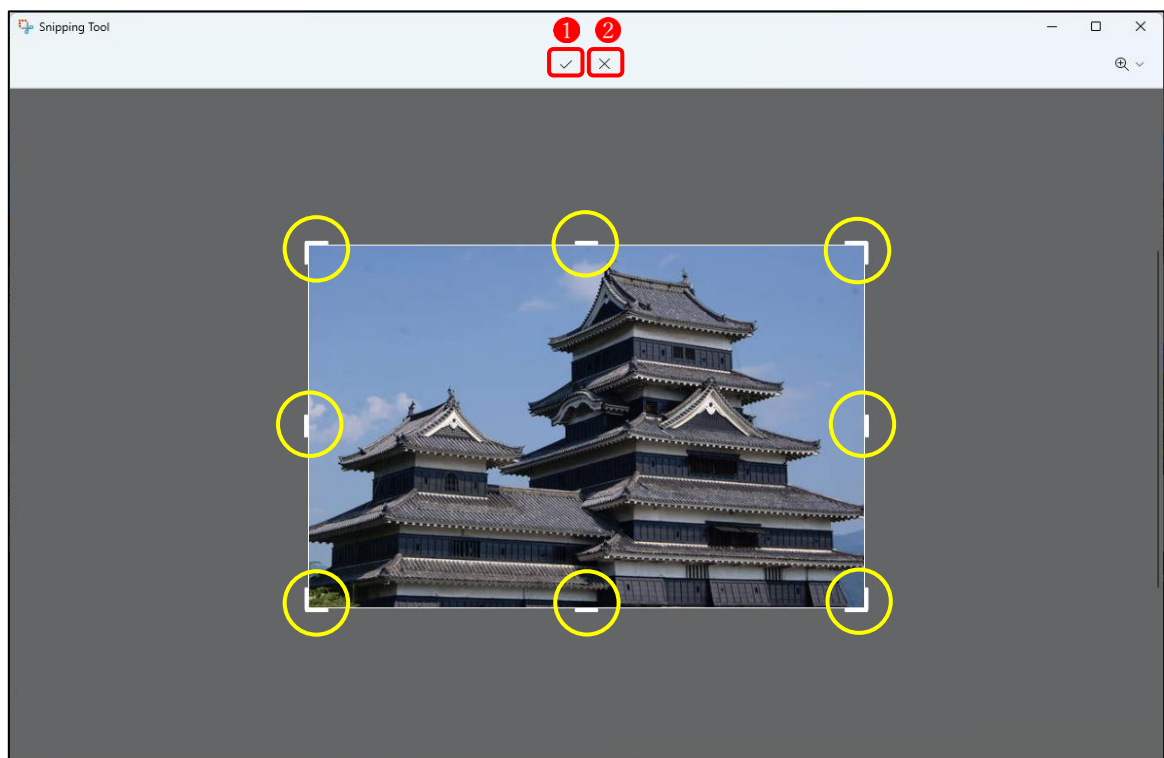


図形ツールを使うと、このような図形を描くことができます。



(5) 「画像のトリミング」^⑤の使い方

「画像のトリミング」ボタンをクリックすると、下図のように画像の四隅とその中間にハンドルが現れます。このハンドルを動かして切り取りたい形に変形します。「✓適用」ボタン^①をクリックすると切り取りが実行されます。選択を解除したい場合は、「×キャンセル」ボタン^②をクリックします。



(6) 「テキスト アクション」⑥の使い方

「テキスト アクション」とは、いわゆる OCR の機能です。

- ① 文字の書いてある（彫ってある）写真をキャプチャーし①、「テキスト アクション」ボタン⑥をクリックします。
- ② AI が写真の中の文字を認識します。認識が終わると、「すべてのテキストをコピーする」②の文字が表示されます。
- ③ 「すべてのテキストをコピーする」②をクリックすると、テキストがクリップボードにコピーされるので、Word などのアプリを起動して貼り付けることができます。



ちなみに、この写真の中に彫ってある文字はつぎのとおりです。

吉田松陰(一八三〇年～一八五九年)
一年の効果がある。
一年努力すれば、
一日の効果を得られる。
一日努力すれば
それは自分のものとなる。
一つ有益なものを得れば、
その善は自分のものとなる。
一の善いことをすれば、

(9) 「ペイントで編集します」⑨の使い方

ここにある編集ツールだけで物足りない場合は、「ペイントで編集します」⑨をクリックして、ペイントを起動して本格的に編集を行います。

4 ツールバーの機能

「Snipping Tool」のツールバーから、「名前を付けて保存」や「コピー」などを行うことができます。

① 名前を付けて保存

キャプチャーした後に編集した画像を保存したい場合は、必ず「名前を付けて保存」①を行います。

② コピー

キャプチャーした後に編集した画像を貼り付けたい場合は、必ず「コピー」②してから貼り付けます。

以下の機能は、「もっと見る」③の内容です。

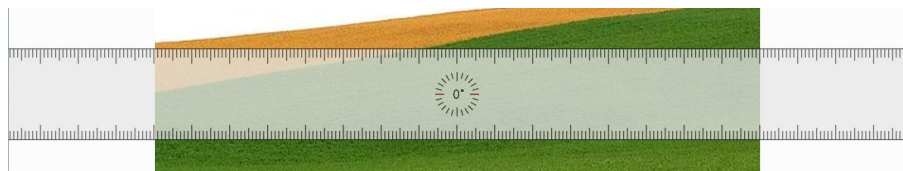
① ズーム（画面の拡大・縮小）

クリックすると、右図のメニューが表示されます。ショートカットキーが付いています。

100%	Ctrl+0
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
ウィンドウに合わせる	Ctrl+1

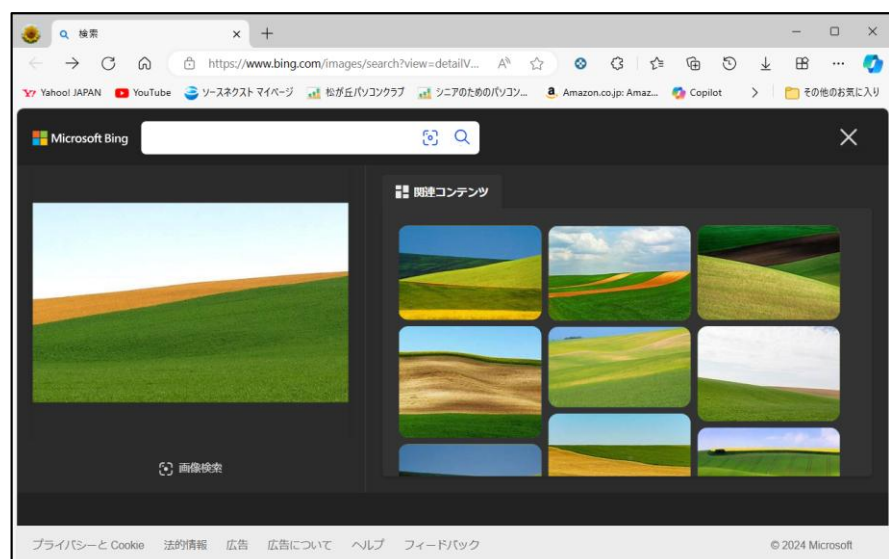
② ルーラーの表示（定規）

クリックすると、定規が表示されます。定規に沿って直線を描くことができ、またマウスホイールを回転すると、定規の角度を変えられます。ルーラーを非表示にしたい場合は、もう一度同じ項目をクリックします。



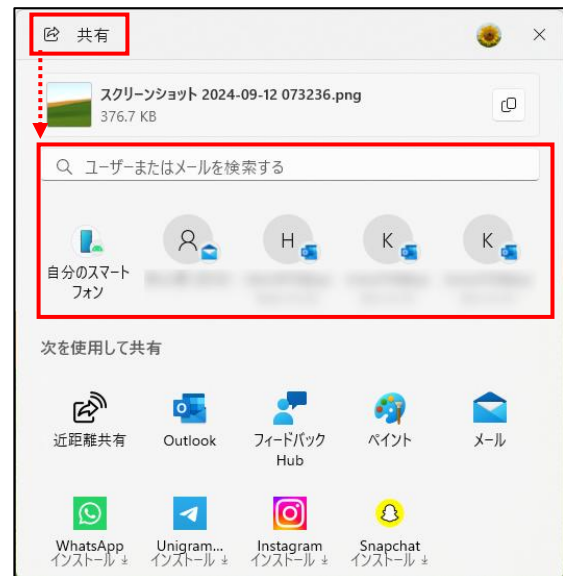
③ Bing で画像検索

クリックすると、似たような画像を検索して表示してくれます。



④ 共有

キャプチャーした画像をメールで相手に送ることができます。



⑤ ファイルを開く

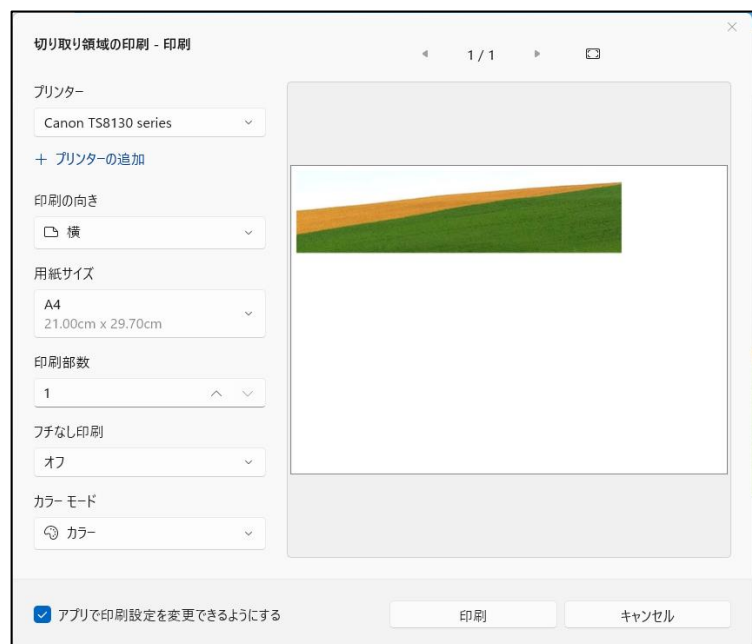
ピクチャーフォルダー内のスクリーンショットフォルダーが開きます。

⑥ スクリーンショット フォルダーを開く

スクリーンショットフォルダー内の画像が表示されるので、キャプチャーして保存してある画像をすぐに読み込むことができます。

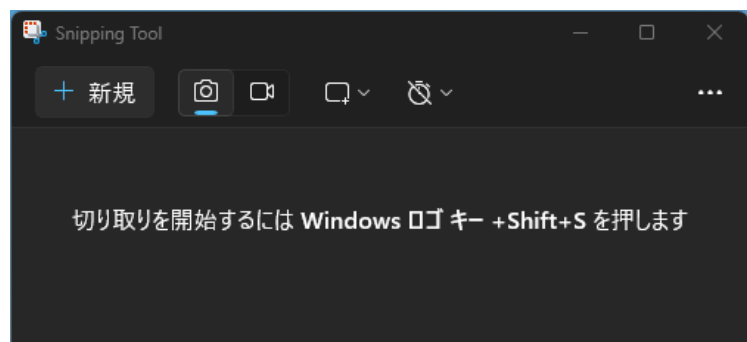
⑦ 印刷

印刷用のダイアログボックスが開くので、ここから印刷することができます。



⑧ 設定

設定画面が開くので、必要に応じて項目ごとにオンとオフを設定します。「外観」の項目では、ダークモードも用意されています。



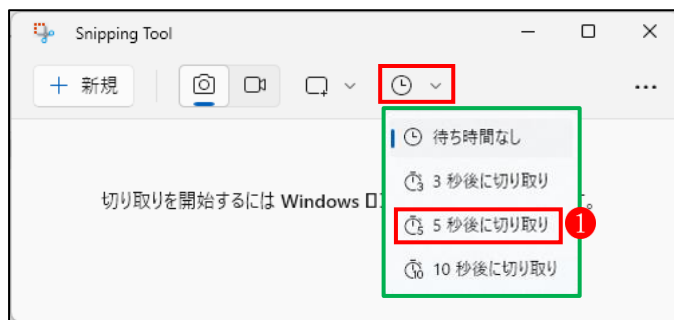
5 「遅延切り取り」機能を使って画面をキャプチャする

(1) 画面をキャプチャしたい状態に固定してからキャプチャする

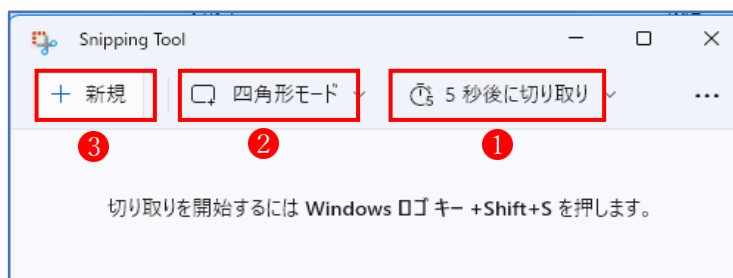
右クリックメニューが表示された状態を画像としてキャプチャしたい時がありますが、普通にキャプチャしようとしてマウスでクリック操作を行うと、肝心の右クリックメニューが解除されて画面から消えてしまいます。それを解決できるのが「遅延切り取り」という機能です。

- ① 「遅延切り取り」をクリックして、選択肢の中からキャプチャする状態をセットするのに必要な秒数を選択します。(☆ここでは「5秒後に切り取り」①を選択します。)

★ デフォルトでは「待ち時間なし」に設定されています。

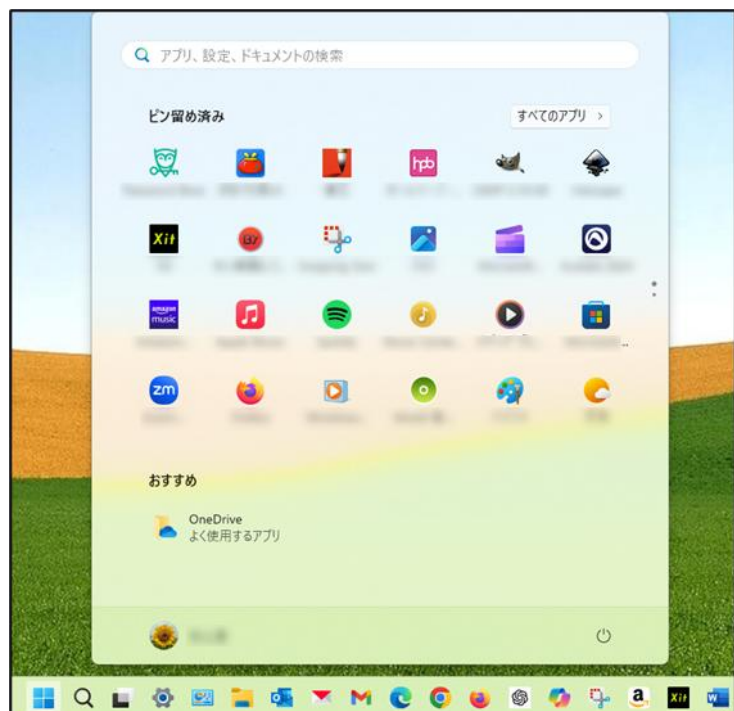


- ② 続いて切り取りモードを「四角形モード」②にし、最後に「+新規」③をクリックします。



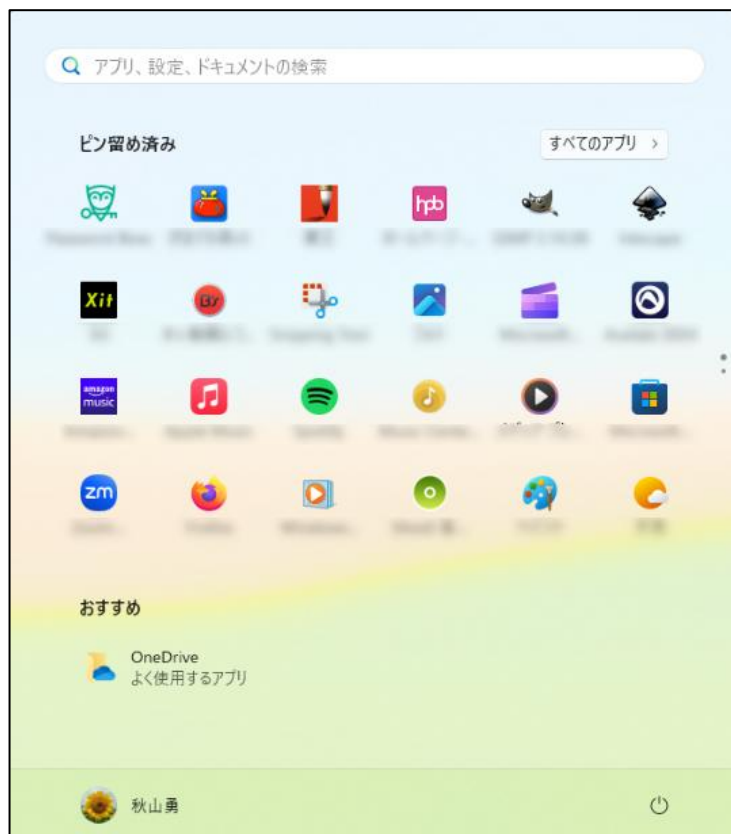
- ③ 画面をキャプチャしたい状態にセットします。

ここでは、PCのスタート画面をキャプチャします。このスタート画面は、マウスで他の場所をクリックした途端に画面から消えてしまうので、通常の切り取り方法ではキャプチャできないのです。



- ④ この状態で5秒間経過すると、画面が静止した状態になります。この状態で、キャプチャーしたい部分（スタート画面のみ）を囲むようにドラッグすると、通常の方法ではキャプチャーできないスタート画面を切り取ることができました。

★ この遅延機能は、エクスプローラーの中で行う右クリックメニューだけは残念ながら機能しません。

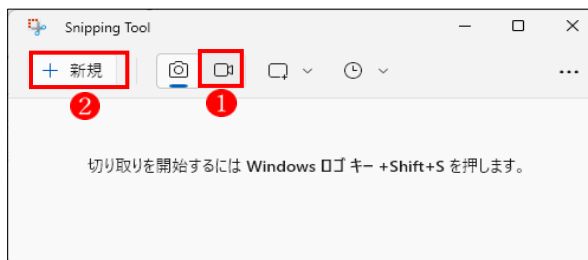


6 画面を録画する

「Snipping Tool」では、画面の動きを動画として録画することもできます。

<録画方法>

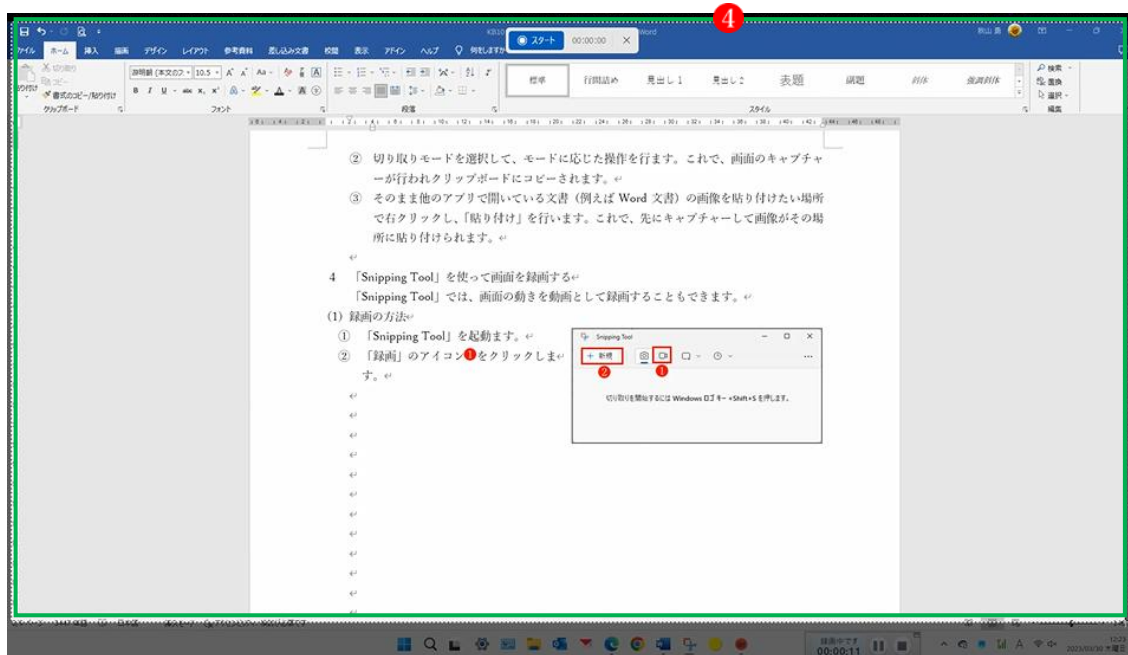
- ① 「Snipping Tool」を起動します。
② 「録画」のアイコン①をクリックします。



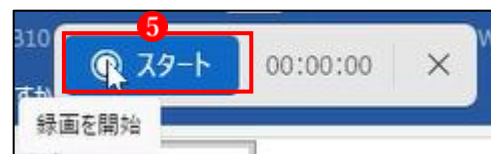
- ③ 画面上部に右のウィンドウ①が現れます。



- ④ 録画したい画面領域④をドラッグして囲みます。



- ⑤ 「スタート」ボタン⑤をクリックします。



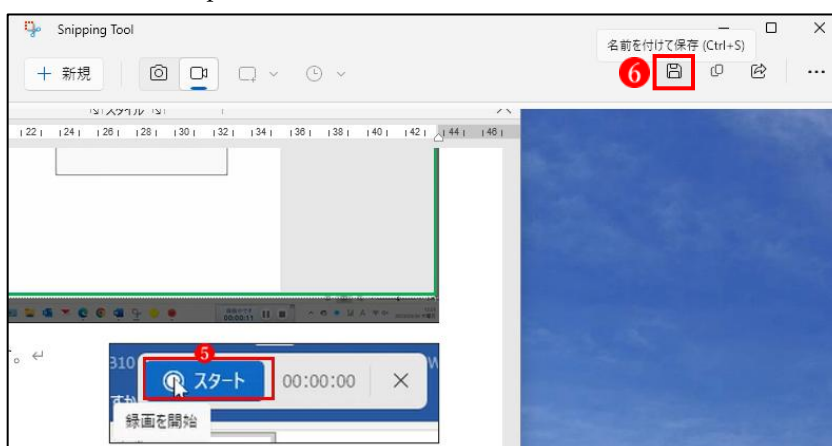
- ⑥ 3秒後に録画がスタートします。

→「スタート」ボタンが「録画を停止」ボタンに変化します。
→録画を終了するときには、「録画を停止」ボタンをクリックします。

- ⑦ 「名前を付けて保存」⑥から、保存先のフォルダーを指定して保存します。

★ 必ず「名前を付けて保存」の操作を行ってください。

動画は「.mp4」ファイルで保存されます。



- ⑧ 保存先のフォルダーから録画ファイルを選択し、ダブルクリックすると、録画された動画がスタートします。